

財務ハイライト

親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



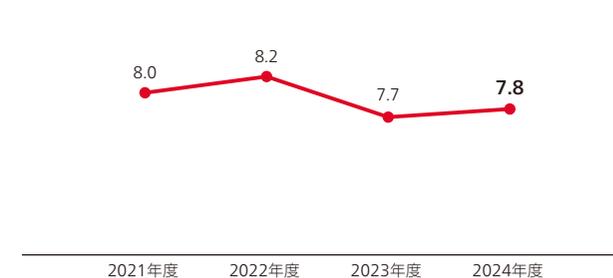
海外カスタマー・環境エネルギーセグメントにて貸倒関連費用が増加したものの、航空・ロジスティクスセグメントの好調な推移、環境エネルギーセグメントでの大口有価証券売却益の計上等により、前年度比113億円の増益となり、3期連続で過去最高益を更新しました。

自己資本比率 (%)



ビジネスモデルの進化・積層化により、アセットの質を中長期的に転換していくなか、資本・負債の構成をアセットのリスク変化に応じて最適化することをめざしています。

ROE (%)



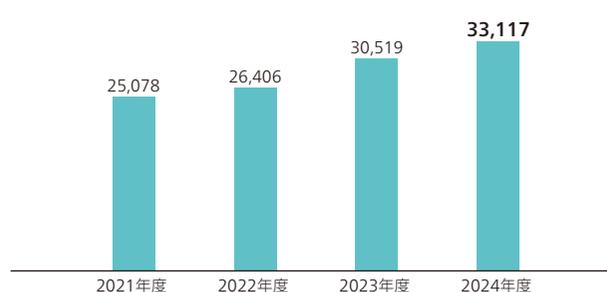
2024年度の適用為替レートが期初想定より円安に推移したことで自己資本が増加した一方、当期純利益は円安効果を加味しても期初計画とほぼ同水準にとどまったため、小幅な増加となりました。

総資産 (億円)



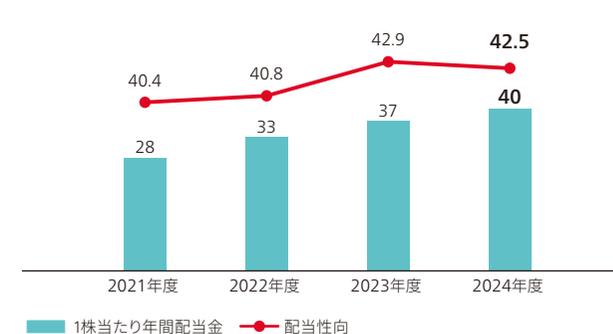
連結子会社であった積水リースや御幸ビルディングの連結除外による減少はあったものの、European Energyの持分法適用関連会社化や、航空・ロジスティクスセグメントのリース資産増加等により、前年度末比6,124億円の増加となりました。

契約実行高 (億円)



ロジスティクスセグメントにおいて海上コンテナの新規投資を大幅に増加したことに加え、航空・不動産セグメントにおいても、契約実行が増加したことなどにより、前年度比2,597億円の増加となりました。

配当金 (円) / 配当性向 (%)



当社の株主還元は配当によって行うことを基本としています。2025中計期間中(2023~2025年度)の配当性向の目標は40%以上としており、利益成長を通じて配当総額を高め、26期連続増配を実現しました。